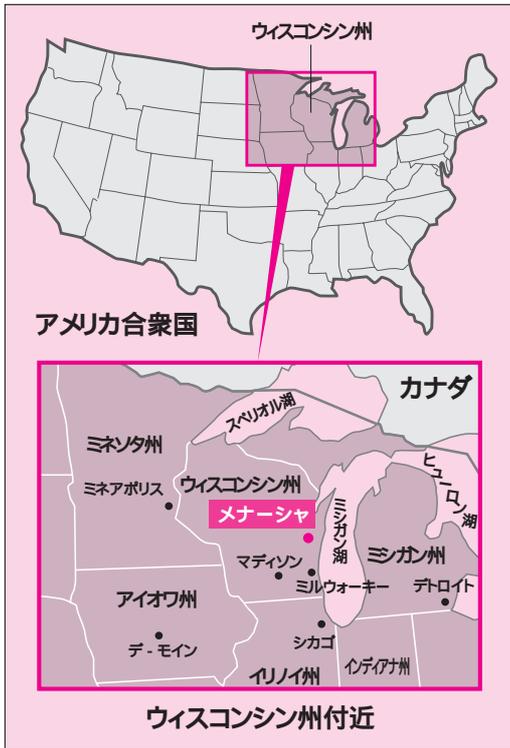




メナーシャ市民との交流



調印式の署名後にロークス市長と高木市長が堅く握手



メナーシャ市



上 市立図書館を視察

下 クロビスクロープ小学校訪問



市民広場に前橋市旗も

メナーシャ市と さまざまな分野で交流を 水と緑豊かなまち

旧大胡町の姉妹都市であり、本市が新たに友好都市提携を結んだメナーシャ市は、どんな都市なのか、また調印に至るまでの経緯などを紹介します。

水と緑豊かなまち

アメリカ合衆国ウイスコンシン州にあり、五大湖の一つであるミシガン湖から西に八十度、北部中央の主要都市シカゴまでは南へ二百七十度です。北海道旭川市と同緯度にあたり、平均気温は一月がマイナス九度、八月が二度。冬場は雪が多く、本市と同様に水と緑が豊かで、水力発電や製紙業が盛んです。

調印への経緯

メナーシャ市と旧大胡町との交流は、メナーシャ市在勤で、日米の教育交流や日本語教師を養成している伊藤幸男さんが、旧大胡町の児童養護施設「鐘の鳴る丘少年の家」出身であったことが縁で始まりました。

平成10年5月「大胡町と小学校同士の絵画交換を通じた交流が始まる」12年8月「大胡中の生徒十二人をメナーシャ市へ派遣」13年6月「メナーシャ市の生徒が大胡町を訪問」14年8月「大



市長、議長、教育長の連名で調印

今後の交流

経済、文化、教育、スポーツなどさまざまな分野での交流が行われていくことでしょう。歴史や文化の異なる都市との交流は本市の活性化にもなり、すでに友好関係にあるオルビエート市とバーミングハム市に次ぐ三番目の海外友好都市として期待されています。

16年7月「メナーシャ市のロークス市長が高木市長を訪問、合併後も友好関係を継続していくことで合意」17年8月「メナーシャ市で友好都市の提携調印

問い合わせは文化政策課
890 6516